

週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

(旧 世界基督教統一神霊協会)

加賀家庭教会

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION
KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

み言

「天に対して忠誠を尽くそう」

孝行する人は、自らの生活の中で良い事があれば、先に父母を思います。良いものを見た時に、先に自分の夫や妻を思うのは墮落した世の中です。先に自らの父母に貴い物を買ってさしあげなくては、自分の妻に買ってあげる事はできません。

男性たちも、自分の服を買おうと思えば、先に父母に買ってさしあげてから買わなければなりません。そして、妻や子供たちにも買ってあげなければなりません。

御飯を食べる時も、父母に侍って食べなければなりません。サタン世界の父母が亡くなくても、三年間喪に服するのが韓国の風習です。ですから、この地上で三年以上精誠を尽くして父母に侍らなければ、天上世界に行つて、「大韓民国の子孫だ」と言う事はできません。

昔、孝子が父母の三年の喪に服する時、墓地に穴蔵を建て、そこで起居しながら孝の道理を履行したのが韓国の礼法ではありませんか。

私達は、それ以上にしなければなりません。私達祝福家庭は、お互いの良い面を備え、父母に侍る生活をしなければなりません。

(1969.11.10)

韓国は、最後に神様に忠誠を尽くして孝行する民族なので、今日、その忠孝精神が国家の中心思想になったのです。沈清の父母の為に尽くす哀切な孝行心、春香の夫に対する志操、鄭夢周の君主に対する忠誠、柳寛順の殉国精神、

このような忠孝の志操は、古今東西、どこにもその類例を見る事が出来ない、韓民族の魂です。

このような忠孝の精神と、松と竹の様に固い志操は、今後成し遂げられる地上天国の中枢的思想と精神になるのです。天国は神様の国なので、その国の為に永遠に忠誠を尽くさなければならず、神様は人類の父であられるので、その父に永遠に孝行しなければなりません。世界の様々な民族をいくら試験してみても、韓国のように忠孝の情熱と志操が高い国はないので、神様は、韓国を選んで訪ねてこられるのです。

(1978.10.19)

旧約聖書 ルツ記 1:3 ナオミの夫エリメレクは死んで、ナオミとふたりの男の子が残された。**1:4** ふたりの男の子はそれぞれモアブの女を妻に迎えた。そのひとりの名はオルパといい、ひとりの名はルツといった。彼らはそこに十年ほど住んでいたが、**1:5** マロンとキリオンのふたりもまた死んだ。こうしてナオミはふたりの子と夫とに先だたれた。

2:11 ボアズは答えて彼女に言った、「あなたの夫が死んでこのかた、あなたがしゅうとめにつくしたこと、また自分の父母と生れた国を離れて、かつて知らなかった民のところに来たことは皆わたしに聞えました。**2:12** どうぞ、主があなたのしたことに報いられるように。どうぞ、イスラエルの神、主、すなわちあなたがその翼の下に身を寄せようとしてきた主からしゅうぶんの報いを得られるように」。